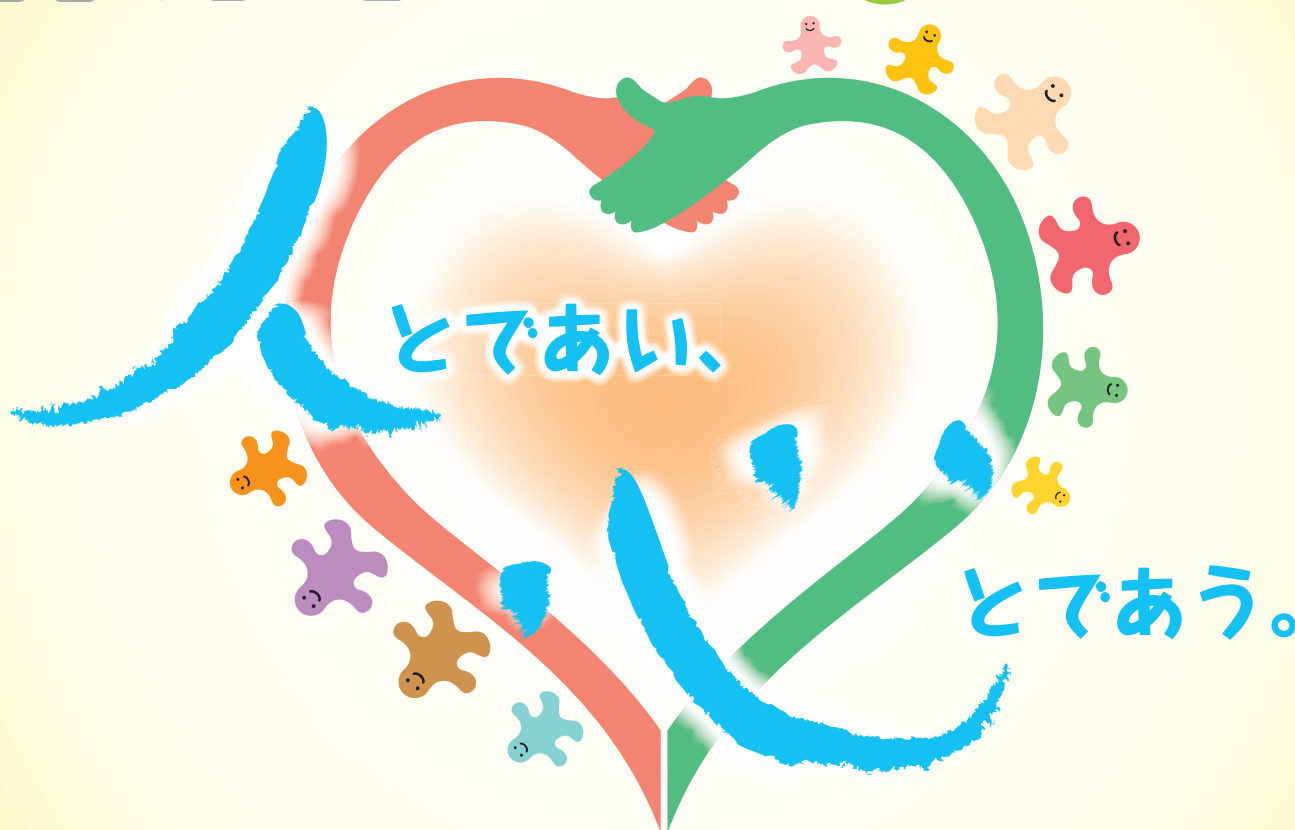


アクティブ福祉 in 東京'14



アクティブ福祉のマスコットキャラクター
アクティブブル（作者：高橋昌子さん）です。

第9回 高齢者福祉研究大会



— 開催要項 —

日々の介護現場での取組み・実践、施設、個人、グループでの研究成果などを発表する学会形式の研究大会です。ポスター発表も行います。

とき 平成26年 **9月30日** 火 9:20~17:00

ところ **京王プラザホテル**

シンポジウム

「語ってもらおう！日本の介護～広がる海外からの介護人材～」

介護現場では、今や外国人介護士は共に働く仲間となっています。「どうして日本で働こうと思ったの？」「介護の仕事の魅力、やりがいって？」など、外国人介護士の方々に率直に語ってもらうことで、日本の介護現場の魅力を新たな視点で見つめ直します。

シンポジスト

呉 英美さん（なぎさ和楽苑／韓国出身）
田原シエラさん（癒しの浦安ふじみ館／フィリピン出身）
エバーシト・ピンキー・アルバレスさん（ケアポート板橋／フィリピン出身）
足島ヘルミニアさん（ケアリッツ日本橋／フィリピン出身）

コーディネーター 初貝 幸江さん（日本福祉教育専門学校介護福祉学科 専任講師）

時間 15:30~17:00 会場 コンコードボールルームAB

主催

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会
「アクティブ福祉 in 東京'14」（高齢者福祉研究大会）実行委員会

後援 (予定)

東京都
日本社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック
公益社団法人東京社会福祉士会
特定非営利活動法人 東京都介護福祉士会

社団法人 日本介護福祉士養成施設協会 東京都会
一般社団法人 東京都老人保健施設協会
東京都地域密着型サービス事業者連絡協議会
特定非営利活動法人 東京都介護支援専門員研究協議会

日本介護福祉学会
日本健康福祉政策学会
日本福祉介護情報学会

第9回 高齢者福祉研究大会 「アクティブ福祉 in 東京 '14」開催要綱

1 趣 旨

日頃の介護現場での取り組みや実践、施設全体での研究や個人・グループによる研究など、小さな発見から大きな実践まで施設での様々な取り組みを発表する場として、今年度も引き続き、第9回高齢者福祉研究大会「アクティブ福祉 in 東京 '14」を開催致します。東京都高齢者福祉施設協議会は、本大会をとおして都内高齢者福祉施設、事業所の職員が元気に働きつづけることを応援したいと考えています。

本大会は、学会形式を取り入れた研究大会です。興味のある実践報告や研究発表を、分科会会場を自由に往き来して聴いてください。きっと、いい「刺激」が生まれると思います。疑問に思ったことは発表者にどんどん質問してください。日頃話す機会が少ない他施設の職員との「交流」のきっかけになるかもしれません。自分の施設でも取組めそうな報告や発表がありましたら、ぜひ持ちかえって自分の施設で提案したり実践してみてください。あなたの職場の「活性化」につながるかもしれません。

「刺激」を受けることで「交流」が始まり、交流を通して自分自身や職場が「活性化」する。本大会は、そんなプラスのサイクルづくりを目指しています。みなさんのアクティブな参加をお待ちしています。

2 日 程 平成26年9月30日(火) 9:20～17:00 (受付は8:15～)

3 会 場 京王プラザホテル 東京都新宿区西新宿2-2-1 TEL 03-3344-0111 【会場案内図参照】

4 参加対象

高齢者福祉に関心のある方ならどなたでも
例えば…

- ① 高齢者福祉の仕事に関心のある学生
(介護福祉士、社会福祉士等の養成校の学生など)
- ② 都内高齢者福祉施設等の利用者、家族、ボランティアなど
- ③ 東京都高齢者福祉施設協議会 会員事業所の職員

5 定 員 1,400名程度

6 プログラム 別掲のとおり

7 参加費

一般	6,000円
学生	500円 (当日学生証をお持ちください。)

8 お 弁 当

1人	1,000円 (税込、希望者のみ)
----	-------------------

※希望者分のみご用意致します。注文される場合は申込書にご記入ください。
※注文されたお弁当以外の飲食は会場内ではできません。注文しない場合は、ホテル内レストランまたは周辺の飲食店をご利用ください。

9 申込方法

別紙「参加申込書」に必要事項を記入し、**平成26年8月31日（日）**までにFAXまたは郵送にてお申込みの上、参加費をお振込みください。（詳細は6ページをご確認ください。）本開催要綱及び申込書は東京都社会福祉協議会ホームページ（下記参照）からもダウンロードできます。

※研究発表者も、発表申込みとは別に大会参加申込みが必要です。

必ずお申込み手続きをしていただきますようお願いいたします。

東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会 ホームページ
<http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/>

10 申込先

株式会社 アイフィス アクティブ福祉 in 東京 '14係（担当：久保田・玉城）
〒112-0005 東京都文京区水道2-10-13
TEL 03-5395-1202 FAX 03-5395-1206

11 参加証等の送付について

参加申込及び参加費のお支払いを確認後、9月10日頃までに参加及び資料引換券等をお送りいたします。（詳細は6ページをご確認ください。）

12 主催

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会
アクティブ福祉 in 東京 実行委員会

13 後援

東京都（予定）
日本介護福祉学会
公益社団法人東京社会福祉士会（予定）
日本健康福祉政策学会
日本福祉介護情報学会
東京都地域密着型サービス事業者連絡協議会

社団法人日本介護福祉士養成施設協会 東京部会（予定）
一般社団法人東京都老人保健施設協会（予定）
日本社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック
特定非営利活動法人 東京都介護福祉士会（予定）
特定非営利活動法人 東京都介護支援専門員研究協議会（予定）

14 福祉保健局長賞について

各テーマにおける最も優秀な研究発表に対して、東京都福祉保健局長賞を贈呈いたします。賞の授与式及び再発表は、後日実施する予定です。

15 個人情報保護について

「参加申込書」に記載された個人情報は本大会の運営管理のみに使用いたします。（個人情報保護に関する取扱いに係る契約を「株式会社 アイフィス」と交わした上で、参加とりまとめを委託しています。）

16 写真撮影について

開催中に大会事務局にて写真撮影等を行います。撮影した写真等は、東社協東京都高齢者福祉施設協議会の広報誌、ホームページ等に掲載されることがあります。

17 お問い合わせ先

＜大会の内容に関すること＞

東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当 アクティブ福祉 in 東京 係
TEL 03-3268-7172 FAX 03-3268-0635
Email kourei@tcsw.tvac.or.jp

＜参加申込み、参加券、参加費に関すること＞

株式会社アイフィス アクティブ福祉 in 東京 '14係（担当：久保田・玉城）
〒112-0005 東京都文京区水道2-10-13
TEL 03-5395-1202 FAX 03-5395-1206

		第1会場／花A		第2会場／花B		第3会場／花C		第4会場／花D	
		食事・栄養・口腔ケア		アクティビティ・リハビリテーション・レクリエーション ①		アクティビティ・リハビリテーション・レクリエーション ②		業務改善・効率化・経営・品質・財務	
9:10		所属(種別)・氏名	題 名	所属(種別)・氏名	題 名	所属(種別)・氏名	題 名	所属(種別)・氏名	題 名
<オリエンテーション>									
①	9:20	フレンズホーム (特養) 飯田 能子	ソフト食から常食への取り組み	江戸川光照苑 (デイ) 渡辺 正恵	自分で痛みを治して心も元気に！	新宿けやき園 (特養) 佐藤 みき 小山 亜美 橋本 祐紀	米ぬかと緑茶を使用し皮膚を洗浄することで乾燥肌を改善することを目的とした取り組み	舟渡高齢者在宅サービスセンター (デイ) 高橋 恵子	「ポイント獲得型アクティビティ」の課題とその改善策
②	9:45	しらさぎホーム (特養) 青木 純 管家 ひとみ	いつまでも口から食べる大切さ口は健康の入り口です	やのくち正吉苑 (その他) 時松 正治	在宅生活継続に向けたパワフルハビリの取り組みとその効果について	いすみえん (特養) 沖野 結菜	食によるアパシーの改善効果と鬱との鑑別	松風園 (軽費) 落合 将吾	コミュニケーションスキルの向上にむけた介護職員の意識改革と利用者評価調査の活用
③	10:10	小川ホーム (特養) 村山 大輔	個別性を重視した食事環境を整えることによる効果に関する研究	デイ・ホーム千歳 (デイ) 氏家 由美恵 岩野 徳幸 山田 育枝	曜日対抗レクリエーションを通して考えるレクリエーションの参加率向上とスタッフの意識改革	多摩特養老人ホーム (特養) 松川 伸生	言語聴覚士の導入による口腔リハビリの活性化とその成果について	練馬区社会福祉事業団 デイ事業課 (デイ) 大久保 博 竹川 栄成	デイサービス送迎員の採用と研修方法の変更による車両事故の削減に向けた研究
10:30									
<休 憩>									
④	10:45	多摩済生園 (特養) 川崎 悠子 佐々木 祐子	経口摂取への取り組みを通してADL改善を目指す	シャローム南沢 (デイ) 鈴木 真弓	デイサービスにおける個別機能訓練の有効性について	さつぎ荘 (特養) 松本 渚	看取り期における機能訓練指導員の役割	原町ホーム (特養) 小林 あゆみ	IPadによる新しい情報共有
⑤	11:10	よつや苑 (特養) 神保 妙 金子 真樹 中澤 奈津子	安全な食事とおいしく楽しい食事の両立を目指して	ファミリーマイホーム (特養) 櫻澤 孝治	RE-CREATE (再生) 一からつくり直したレクリエーション	高砂園 (養護) 中茎 節子	グループワークにおける機能向上に向けた取り組みについて	富士見台特別養護老人ホーム (特養) 櫻本 淳	介護技術+福祉用具=らくらく介護
⑥	11:35	多摩の里むさしの園 (特養) 田久保 智季	ちょっと待って！食事形態を変える前に！！	はなはた (デイ) 石鍋 信夫	たのしむことがつづくコツ	シャローム東久留米 (特養) 佐竹 和士	効果的な体操プログラム充実への取り組み	青陽園 (特養) 安野 和美	事故防止への取り組み
11:55									
13:05									
<休 憩>									
<オリエンテーション>									
⑦	13:10	サンライズ大泉 (特養) 松本 さや佳 西村 雄大	ご家族参加型の訓練による摂食機能の向上に関する研究	第二青陽園 (特養) 水原 拓哉	棒体操による座位状態への効果について	あゆみえん (特養) 野田 直緒希	外気浴による夜間睡眠状況の改善、精神機能の改善等日常生活の変化について	シャローム東久留米 (特養) 鈴木 さやか	シャローム東久留米における待機者の実態調査について
⑧	13:35	浅川苑 (特養) 萩崎 望	その人に合った食事形態の変更と多職種連携	第2サンシャインビル (特養) 青山 和美 池田 広宣	レクリエーションの再構築による意欲と信頼関係の更なる向上	第二光陽苑 (特養) 山下 健吾	入苑者が活動的な生活を送れる様に	生活相談員スキルアップ研修会Aグループ (その他) 津波古 祥平	高齢者の生活課題に向き合う生活相談員のソーシャルワーク
⑨	14:00	アゼリーアネックス (軽費) 渡邊 真帆	美味しくお茶を飲んでいただくプロジェクト	多摩の里けやき園 (特養) 鈴木 貴典	見つけた！これだ！わたしたち達の「リハビリティ」！「見える化」に取り組んで見えて来たもの	愛全園 (特養) 鈴木 伯実	特養における日常生活の中の音楽療法の重要性	府中市立介護予防推進センター (その他) 小田 聡 武田 功 飯田 果世	府中市介護予防健診受診後の介護予防教室実践による要介護認定への効果について
⑩	14:25	ニューフジホーム (特養) 野村 武史 渡邊 喬正 人見 真理子	口腔マッサージによる食事摂取量の増加及び摂取意欲の向上	フローラ石神井公園 (特養) 岡野 奈央美	生きる力の支援	ウエルガーデン西が丘園 (デイ) 小川 栄一 岡島 まり子	デイサービスでの園芸活動	中川園 (特養) 飛田野 真隆 浅川 直	ヒヤリハットを活用し、介護事故ゼロへ！
14:45		<撤 収>							

※題名については主題のみの表記とさせていただきます。予めご了承ください。

※種別について：(特養)…特別養護老人ホーム、(養護)…養護老人ホーム、(軽費)…軽費老人ホーム、(デイ)…デイサービス(通所介護)、

		第5会場／錦		第6会場／扇		第7会場／コンコードA		第8会場／コンコードB		第9会場／コンコードC							
		ケアの質の向上①		ケアの質の向上②		医療・ターミナルケア		地域ケア・居宅		人材育成 ～人材確保への取組み～							
9:10		所属(種別)・氏名	題 名	所属(種別)・氏名	題 名	所属(種別)・氏名	題 名	所属(種別)・氏名	題 名	所属(種別)・氏名	題 名						
		＜オリエンテーション＞															
①	9:20	大洋園 (特養) 坂本 恵莉香	高齢者と死を 話題とする際 に必要なコミュ ニケーション 技術	葛飾やすらぎ の郷 (特養) 鄭 允枝	おしぼりたた みを通しての 心の関わり方	日の出紫苑 (特養) 山本 紀子 人見 友佳	臀部の剥離処 置、減少	生活相談員ス キルアップ研 修会 Cグル ープ (その他) 奥平 隼人	今だからこ そ、来年度の 介護保険法改 正に向け在宅 生活の見直し を！	今井苑 (特養) 関塚 真美	介護マニユ アルの活用方 法及び指導方 法の統一につ いて						
②	9:45	いけよんの郷 (デイ) 濱野 律哉	認知症の利用 者とその家族 や地域との交 流	みやま大樹の 苑 (特養) 北村 剛	片付けから学 んだ「当たり 前」の大切さ	清風園 (特養) 葛蓬 彩香	家族の経験か ら学ぶ看取り ケア おくり びと	千歳敬心苑 (特養) 小澤 智人	地域資源とし て、近隣小学 校へ出向き入 居者の体験談 を通じ、地域 への貢献に関 する研究	晴楓ホーム (特養) 富樫 幸範 高塚 倫子 大塚 桂子	PDCAサイク ルを用いた課 題解決により 得られた成果 が人材に及ぼ す効果につ いて						
③	10:10	ウエルガーデ ン伊興園 (特養) 松本 嗣未 安部 昭宏	従来型施設で のユニットケ アでリスクマ ネジメント力 を高める	大森老人ホー ム (養護) 小林 恵 柳葉 志穂	外出して帰っ て来られない 利用者への取 組み	扇 (特養) 岡安 里美 鎌田めぐみ	今までの看取 りケア これ からの看取り ケア	神明園 (特養) 長川 吉仁	小学校との交 流活動が継続 している理由	光陽苑 (特養) 秋田 夏美	真のサービス マナーとは何 か						
10:30		＜休 憩＞															
④	10:45	第二八丈老人 ホーム (特養) 畑見 学 石井 章浩	「清拭車を無 くした排泄ケ ア」導入の実 践から見えた チームケアを 良い方向に導 くための条件	ひのでホーム (特養) 谷本 勇磨	従来型特養に おけるリフト の導入と成果	白十字ホーム (特養) 長田 純一	看取りケアに おける「家 族」の関わり とその位置づ け	生活相談員ス キルアップ研 修会 Dグル ープ (その他) 陰山 幸子	災害時におけ る地域との連 携と生活相談 員の役割	久我山園 (特養) 柳 真美 上村 美智留 横山 久美	新人職員のス キルアップを 可視化する熟 達度評価表の 有用性評価						
⑤	11:10	千住桜花苑 (特養) 渡邊 秀雄	総合記録シー トの活用	南陽園 (特養) 合谷 孝文	ひもときシー トを取り入れた 認知症ご利用 者のBPSD(行動・ 心理症状)の緩和 に向けた取り 組み	シャローム東 久留米 (特養) 武田 忠雄	難治性褥瘡へ の取り組み	マザアス氷川 台 (デイ) 池添 明美	地域に向けた 健康体操の取 組みと今後の 課題	みすべの苑 (特養) 佐藤 寿代	「フステップ」 プログラムを 用いた人材育 成						
⑥	11:35	新橋さくらの 園 (特養) 瀬戸 政宗	生 活 の 質 (QOL) の向 上に繋がる足 浴の効果に関 する一考察			駒場苑 (特養) 加藤 紗妃里 千田 真歩	最期まで当た り前の生活 を！ 駒場 苑 流・看取り術	万世敬老園 (養護) 十文字 美希	緊急一時保護 から在宅復帰 に向けた協力 支援	けんちの里 (特養) 本井 淳	新卒職員確保 に向けた現場 の介護職員に よる施設広報 活動とその反 応を測った研 究						
11:55 13:05		＜休 憩＞															
		＜オリエンテーション＞															
⑦	13:10	ウエルガーデ ン西が丘園 (特養) 田上 愛 小田部 達也	グループケア 導入による個 別対応の実践	偕楽園ホーム (特養) 山口 政志	介護老人福祉 施設における 認知症サポート 医との連携に よる根拠のあ る認知症ケア の提供とその 効果について												
⑧	13:35	ひのでホーム (特養) 塩畑 繁男	水分提供によ るリスクマネ ジメント	いすみえん (特養) 佐々木 真望	左半側空間無 視の困難を緩 和する取り組 みと効果につ いて												
⑨	14:00	ウエルガーデ ン伊興園 (特養) 田嶋 一行 笹沼 博子	サヨナラ機械 浴!!完全個室 浴の実現	つきしま (特養) 小林 慶子	ユニットで調理 することによ る効果と自立 支援に関する 研究												
⑩	14:25	みやま大樹の 苑 (特養) 田野倉 君枝	日課にとらわ れない、自由 な生活	第三南陽園 (特養) 橋本 淳	より良い生活 を目指して												
14:45		＜撤 収＞															

(包括)…地域包括支援センターまたは在宅介護支援センター

ポスター発表スケジュール

エミネンスホール					
所属（種別）・氏名		発表テーマ	所属（種別）・氏名		発表テーマ
9:10	< オリエンテーション >		13:30	< オリエンテーション >	
① 9:20	あゆみえん（特養） 関 覚	認知症予防レクリエーション ～利用者個々の有する能力を引き出すために～	⑦ 13:35	砧ホーム（特養） 元山 大輔	外出支援にみる利用者の自立への取り組みの成果 ～身近になったバス外出～
② 9:30	愛生苑（特養） 太田 将仁	生活全般の課題を捉えていくための 利用者疑似体験	⑧ 13:45	南陽園（特養） 熊倉 直子	タクティール [®] ケアの導入及び職員 への効果的な周知
③ 9:45	小松原園（特養） 岩井 純子	食事サービスに対する職員の関心と、 課題改善のための取り組み	⑨ 13:55	初音の杜（デイ） 須賀 美代子・佐藤 悦子	認知症予防の観点からの麻雀レク レーションを用いた研究
④ 9:55	新橋さくらの園 なごみ（デイ） 小木 紀明	地域密着型デイサービス再開後の 発展と成果	⑩ 14:05	三ノ輪（特養） 添島 沙奈衣	イベント浴について
⑤ 10:10	いずみえん（特養） 西本 亜紀	五感を刺激した食事環境を模索して 続編 ～日本の四季に合わせた非日常の環境を創りだす海に取り組んだこと～	⑪ 14:15	吉祥寺ナーシングホーム（特養） 船田 花奈	エンゼルメイクの手順書の作成、エ ンゼルケアの見直しと改善
⑥ 10:20	上池袋豊寿園（デイ） 岸本 稔	米作りとしめ縄作りを通して利用者が 「主役」になれる支援の試み	⑫ 14:25	つきみの園（特養） 近藤 剛史	車椅子乗車時の座位保持の重要性 に関して
10:30	< 昼食会場 >		14:45	< 撤収 >	

プログラム

日程

	8:15	9:10	9:20	9:45	10:10	10:30	10:45	11:10	11:35	11:55	13:05	13:10	13:30	13:35	14:00	14:25	14:45	14:50	15:20	15:30	16:55	17:00
口演発表 (9会場)		オリ エン テー ション	口演 発表 ①	口演 発表 ②	口演 発表 ③	休憩	口演 発表 ④	口演 発表 ⑤	口演 発表 ⑥	休憩	オリ エン テー ション	口演 発表 ⑦	口演 発表 ⑧	口演 発表 ⑨	口演 発表 ⑩	(撤収)						
福祉職場の 情報コーナー		(準備)	福祉職場の情報コーナー 高齢者福祉施設（法人）のパンフレット等を配架しています。ご自由にお取りいただけます。																			
福祉機器等 展示コーナー		(準備)	福祉機器等展示コーナー 研究発表会場の前等で福祉機器等の展示を行っております。ご自由にご覧いただけます。														(撤収)					
ポスター 発表		オリ エン テー ション	ポスター発表 取組内容をポスターにまとめたものを 掲示します。ご自由にご覧いただけます。		昼食会場							オリ エン テー ション	ポスター発表 取組内容をポスターにまとめたものを 掲示します。ご自由にご覧いただけます。		(撤収)							
シンポジウム																		開場	開会 挨拶	シンポ ジウム	閉会 挨拶	

シンポジウム

[15:30～17:00] コンコードボールルームAB

○テーマ 語ってもらおう！日本の介護 ～ 広がる海外からの介護人材～

今回のシンポジウムでは、外国人介護士の方々をお呼びし、彼らが何を思いながら、またどんな考えをもって働いているのか、率直なお話を伺いします。

なぜ日本で働こうと思ったのか、仕事に対する思い、日本の介護に対する意見、課題に思うこと、将来のこと…。日頃はなかなか知ることのできない外国人介護士の思いに耳を傾けることで、日本の介護現場を改めて見つめ直す機会にします。

それぞれの現場で生き生きと働く外国人介護士の方からお話を伺うことで、参加者のみなさんが新しい視点・介護現場の魅力を再確認することを目的に開催します。

○シンポジスト

呉 英美 氏（なぎさ和楽苑／韓国出身）

田原 シエラ 氏（癒しの浦安ふじみ館／フィリピン出身）

エハーシト・ピンキー・アルバレス 氏（ケアポート板橋／フィリピン出身）

疋島 ヘルミニア 氏（ケアリッツ日本橋／フィリピン出身）

○コーディネーター

初貝 幸江 氏（日本福祉教育専門学校介護福祉学科 専任講師）

福祉機器展示コーナー・福祉職場の情報コーナー

研究発表のプログラムに並行して、福祉機器等の業者による展示や高齢者福祉施設（法人）のパンフレット等を配架した福祉職場の情報コーナー、福祉関係書籍等の販売コーナーを設置します。ご自由にご覧いただけます。

参加申込について

- ① 別紙「参加申込書」に必要事項を記入し、**平成26年8月31日（日）**までにFAXまたは郵送にて申込先の「株式会社 アイフィス」までお申込みください。
※施設、事業所単位でまとめてのお申込みにご協力ください。（参加券等をまとめて送付いたします。）
※学校単位（クラス単位等）でまとめてお申込みいただける場合は、付き添いの教員分もお申し込みください。付き添い教員の参加費は500円です。
※申込みの際は、必ず「参加申込書」の控え（写）を保管してください。参加申込後の変更・取り消しの際は、「参加申込書」に上書きしたものをFAXまたは郵送でお送りください。電話での変更・取り消しはお受けできません。ご了承ください。
- ② 「参加申込書」送付後、以下の口座へ**9月3日（水）まで**に参加費をお振込ください。（請求書及び振込用紙は送付いたしません。）

東京信用金庫 江戸川橋支店
普通 口座番号 4002686
口座名義 株式会社アイフィス

- ※必ず参加申込書に記載したご所属がわかるかたちでお振込みください。
- ※参加費は、一般一人6,000円、学生一人500円です。
- ※領収書はお振込みの控え等をもって代えさせていただきます。ご了承ください。
- ※参加費等の振込手数料は、申込者様にてご負担ください。
- ※お支払後の取り消し、参加費及び弁当代の返金はいたしません。ご注意ください。当日欠席した場合、大会終了後に、「東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当（アクティブ福祉 in 東京 '14 係）」宛に「参加券（資料引換券）」をお送りいただければ、大会の資料をお送りいたします。
- ※当日のご欠席等、開催日1週間前までにFAXでのご連絡が無かった場合は参加費の全額を徴収いたします。（自動的にキャンセルになることはありません。）
キャンセルの際は、必ず開催日1週間前までに「株式会社アイフィス」へFAXでご連絡ください。

- ③ 参加費のお支払を確認後9月10日頃までに「参加券（資料引換券）」、「弁当引換券」等を発送いたします。大会当日に受付まで忘れずにご持参ください。
締切後にお申込みの場合等、9月25日頃までに参加券等が届かない場合は、大会当日に「当日受付」までお越しください。

参加申込先

参加申込、参加券、
参加費に関する連絡先

株式会社アイフィス アクティブ福祉 in 東京 '14係 (担当：久保田・玉城)

〒112-0005 東京都文京区水道2-10-13

TEL 03-5395-1202 FAX 03-5395-1206

アクティブ福祉 in 東京 '14 事務局

大会の内容に
関する連絡先

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 (福祉部 高齢担当)

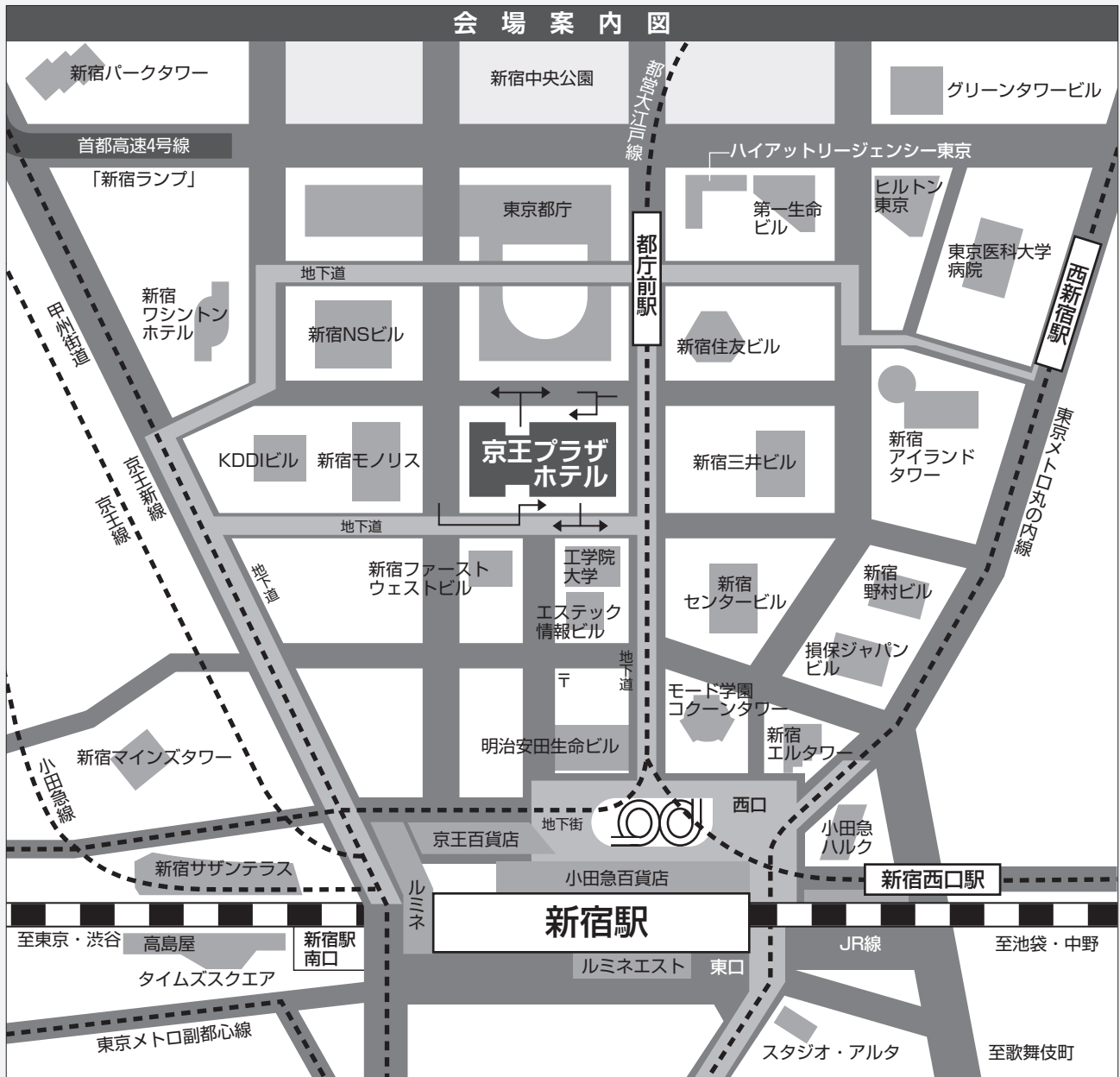
「アクティブ福祉 in 東京 '14係」

〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1

TEL 03-3268-7172 FAX 03-3268-0635

E-mail kourei@tcs.w.tvac.or.jp

会場案内図



交通案内

- ◆ JR新宿駅 西口 下車 徒歩5分
- ◆ 東京メトロ 丸の内線、都営新宿線、京王線、小田急線 新宿駅 下車 徒歩5分
- ◆ 都営大江戸線 都庁前駅 (B1出口) すぐ